

「からす座とコップ座」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

公開研究会までの一カ月は、何やらかにやら忙しかった。余裕がありそうで、実はぜんぜんなかった。研究授業が近づくにしたがって、「教師根性」という悪い病気が再発し、「あれもこれも」と授業に盛り込みたくなる。経験上、それをやっとうまくいった試しはなく、いかに「教師根性」を捨てるか・・・これが大切なことだと思っている。

そんなわけで、夜空が美しい時期なのに、星を見る

余裕もなかった。この週末、久しぶりに北軽井沢を訪ねた。とにかく星空が恋しかったのだ。深夜に見上げた星空は、すっかり春の星座になっていた。目立つのはしし座のレグルスや、おとめ座のスピカだ。しかし私はそういう目立つ星座よりも、南の空に低く見える、からす座やコップ座のほうが好きだ。明るい星は一つもないが、うみへびの背中に乗っかって、共に形美しく、春の夜空を飾っている。



公開研究会の3年生の授業でも、からす座やコップ座のような子どもがいたような気がする。決して目立ってはいないが、地道にすばらしい学びをしている子どもである。私は、そういう子どもに望遠鏡を向けて、しっかり声をかけていきたいと思う。

「からす座とコップ座」

2014, -2, 21 未明 北軽井沢 撮影 ; C. Tanaka

Nikon D40 F3.5 28mm 固定撮影 30s 補正なし